

病害虫防除技術情報第17号

平成 24 年 3 月 14 日
三重県病害虫防除所

イチゴのハダニ類の発生が多くなっています

1 対象作物 : イチゴ

2 対象病害虫名 : ハダニ類

3 発生状況 : やや多い

- 3月上旬の巡回調査(12圃場)では、寄生株率は18.2%(8年平均13.7%)、発生程度は7.3(7年平均8.2)、発生圃場率は58.3%(平年51.8%)でした。防除対策がほどこされ、発生程度は平年よりやや低くなったものの、発生圃場率と寄生株率はやや高いまま推移しています(表)。
- 一般圃場での発生量は、平年よりやや多の状況です。
- 1か月予報(3月9日・名古屋地方気象台発表)によると、向こう1か月は平年と同様に晴れの日が多く、3月17日から23日にかけて気温は平年並か高い予想です。

表. ハダニ類の発生状況

調査年	発生圃場率(%)	寄生株率(%)	発生程度
本年	58.3	18.2	7.3
平年 (10年平均)	51.7	13.7	8.2
		(8年平均)	(7年平均)

※各圃場において50株を調査。

4 防除上の注意事項

- 発生が多くなると防除が難しくなります。圃場全体をよく観察し、発生密度の低いうちに徹底して薬剤防除を行ってください。
- 薬液がかかりやすくなるよう、不要な下葉を除去し、葉裏にもかかるようにていねいに散布してください。
- ハダニ類は薬剤抵抗性が発達しやすいため、同一薬剤や同一系統薬剤の連用は避けてください。
- 薬剤の散布にあたっては、収穫前日数とともに、天敵やミツバチに対する影響も十分考慮して、薬剤の選択を行ってください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。